

令和6年度第2回コミュニティ・スクール勝田（学校運営協議会）議事録

令和6年11月19日（火）19：00～20：25 出席委員12名 欠席委員2名

第2回目の性格：委員による積極的な意見交流や教育活動・学校状況を踏まえた熟議を想定

○美作市立勝田小学校学校運営協議会（企画運営委員会）の部（18：40～18：50）
会長・副会長に対し要項に沿って会議の流れ等事務局から説明

トピック説明 【トピック写真】年度当初からの学年の状況や行事

【学校だより】運動会成功裏に終了

【矢田地区 SB 要望】委員会に提出 矢田地区とも協働

【全国学テ結果】無回答率が低いこと 言葉や数活用記述

【アクションプラン】業者テスト算数平均点まずまず

自己肯定感等 十分配慮要する

<学校現状> 成果・課題

外部の方から 「落ち着いて生活する児童の様子」評価

「グラウンド整備・周囲の環境」評価

内部からの感覚 不登校状況改善児童

▲暴言・大声の児童：登校したり・しなかったり

▲遅刻の連続

行事やフリー参観日を踏まえての感想交流を行う

令和7年度以降展望（学級編成・意見反映）等説明

熟議『こうなったらいいな 子ども・学校・地域』

と考えている旨

○会議の部

1 開会（山根会長挨拶）

出席・開催に対する御礼、協議等による決定事項はないがしっかり意見を交流していきたい旨の挨拶

2 本日の流れの意図と説明

年度折り返しであることを踏まえ、学校の動向について知っていただいたり、委員の皆様方からの児童の状況について感じていることをしっかり交流したりすることを目的に会の進行を考えている旨の説明

3 報告・説明 「年度前半の児童・学校の状況」について

(生活場面の写真を示しながら説明)

【各学年の様子や雰囲気】

- ・今年度から体育は低・中・高の2学年ずつで行っている。
- ・入学した1年生も2年生とともにしっかりプールで楽しんだり、読み聞かせの方々にお世話になり、本にも親しんだりしている。
- ・1年生のK君が夏休み中に転出した。
- ・3年生は6名と少人数ながら、4年生は本校では一番多い16名として元気いっぱいの中学年らしい雰囲気を感じている。
- ・5年生は上半期で米について体感的に学びを進めている。鷹取委員に多大なバックアップをいただくことで成立している活動である。もみまきから稲刈りまで実際に田んぼをフィールドに学び、今後収穫した米の販売代金を使わせていただいて何かしらの取組を考えている。
- ・6年生は年度当初から、学校全体をリードしてくれており、様々に活躍が見られる。広島方面へ全員参加で修学旅行に行き報告等を行った。

【学校行事】

- ・運動会では、児童一人一人が十分力を発揮し、緊張感も保ちながら、非常に引き締まった、楽しい運動会になった。
- ・保護者アンケートの結果も非常に高評価であり、子どもたちの力はすごいなあと改めて感じている。
- ・学校だよりも今回は中学校の御協力をいただき、カラー A 3 版で配付した。

【矢田地区 SB 要望】

- ・矢田地区に係るスクールバス経路延伸の要望書を提出している。
余野地区、西町地区等に関係皆様方の御協力をいただきながら、スクールバス経路延伸経緯がある。
- ・矢田地区は、スクールバス沿線には該当しないものの、通学距離や班員の構成、夏の高気温時の過酷な通学状況等を踏まえ、区長さんとも連携しながら、要望書を提出したところで、今後は教育委員会での審議も踏まえ、判断・方針が出される。

【全国学力・学習状況調査】

- ・4月に実施した、全国学力学習状況調査の結果が毎年8月下旬に返却された。

【結果】

- ・本校では、無回答率が低い（何とか頑張って回答しようとする姿勢）ことなど意欲については評価できる。

- ・算数などで見ると表の読み取り、データの分類整理、言葉や数を用いて条件に沿って記述することに課題がある。
- ・家庭での学習時間は全国や県よりも少ないことがわかった。
- ・いじめは絶対にいけないと感じる子の割合が100%であったり、学習が大切と回答した子も90%を超えるなど人権意識の高さや学習に対する真剣さがわかった。

【アクションプラン】

- ・アクションプランは、岡山県の校長が学校経営を進める上で重点的な取組について記述。

【重点指標①】特に算数に注目して、先生方には、授業の内容について研修をしていただき、子どもたちには楽しいと感じながら算数が好きになってもらいたいと考えている。市販のテストでは、概ね平均点で90点取れている。

【重点指標②】自分の価値をしっかりと感じてもらいたいと願っている。美作市では、年2回心の状態や人間関係などについて客観的な調査を行っている。(i-check) 勝田小学校の児童の4割は「自分への期待感」がやや薄いという傾向がある。

【児童個々の話題】

- ・6年生男子2名の事例、昨年度まで100日以上欠席のある児童がほとんど休みなく来られるようになったり、3校時後に給食を食べて早退を繰り返していた児童が最後までいられるようになったりしている。友だちの支えや先生方の御指導が実ったものと感じる。
- ・第3学年男児においては、授業中に離席し、学校内での徘徊や教師友だちへの暴言等が非常に顕著であることから安全面に配慮し、時間割を組み合わせ、必ず1人がつくようにするなど指導に苦慮する場面が見られる。生徒指導担当や美作市重層会議等とも連携を取りながら対応していく。

4 委員間で児童に係る意見交流

委員が児童の通学時の様子や参観日や行事等での様子について意見交流・質問や感想等

- ・楽しい取組が多くできているように感じる。
- ・先生の指導の仕方も社会の授業など学びあいの姿があり向上できる授業と感じた。
- ・他町では、猛暑のため通学途中で飲み物を提供するような取組もある。
- ・支援の必要な子が多いと感じる。
- ・一生懸命にやろうとする児童が多い。
- ・運動会では応援合戦など真剣な姿がうれしかった。 など

5 令和7年度学級編成の見込みや教育課程等への本協議会意見等の反映について

- ・複式学級への移行についての説明（令和6・7年度は変則複式解消を依頼、令和8年度からは3・4年生複式学級編成が濃厚）

- ・ 本会での発言や協議された内容を次年度以降の教育目標や教育課程編成に組み込んでいくことが重要である。できる限りここに反映されているとわかるように努めてまいりる所存である。

6 協議（熟議） 『こうなったらいいな 子ども・学校・地域』

- ・ 学校運営協議会では、委員や関係者による意見交流、更には合意形成や方向性の設定が求められるが、1回、2回の協議で意見が熟成されることにはなかなかならない。
- ・ 今年度第1回目には、「これからの子どもに必要な能力」と「その獲得のために」というテーマで御発言いただいた。（記録集 参照）

次代を担う子ども達に必要な能力

- 自分の強み・弱みを知る。
- 考える・感じる・想像・表現する力
- 善悪の分別
- 建設的な考え方と協働する態度
- 思いや考えを伝える力
- 存在アピール力
- 発言力・行動力
- 将来成りたい人や職業に向けた学習
- 選ぶ力
- 努力を惜しまない態度
- 人と関わりよりよく生きようとする態度
- 地域を愛する力
- コミュニケーション
- 個性の認め合い
- 人に優しく接する「ありがとう」の言葉

- ・（3グループに分かれて）『こうなったらいいな子ども・学校・地域』について対話

【子ども】について

- ・このままいてほしい（学校行きたい面白い100%の状況）。
- ・学区内の進学をしてもらいたい。
- ・勝田が好きな子どもになってもらいたい。
- ・人数が増えるといいなと思う。

【学校】について

- ・動物を飼う活動を取り入れてはどうか。
- ・善悪の判断をしっかり付けるように指導してもらいたい。
- ・保護者や地域への情報提供をしっかり行ってもらいたい。
- ・つるし柿など昔の生活を忘れない工夫をしてもらいたい。
- ・安心できる場であってもらいたい。
- ・支援学級に対する理解を一層深めてもらいたい。
- ・少人数の良さを生かしてもらいたい（田舎の良さ 全員の目を見て挨拶を交わせる等）
- ・もっとPRをしていくことも必要だろう。

【地域】について

- ・子どもが増える地域に（行政との連携：住みやすさや子どもの育てやすさ）なるよう。
- ・●●会等 交流会が必要ではないか。
- ・農業状況も変化しているが、田舎の魅力を伝えるような取組も必要ではないか。

※第1回、第2回で出された意見については教育目標設定や教育課程編成（行事計画等）時に全職員で確認 並びに スマイル発表会時にも掲示等で保護者・地域に周知する。

7 閉会 （佐々木副会長挨拶）

多くの方が子どもについて話すことへの感謝等